



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 森 要輔

TEL 052-533-3135

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	37,364	14.2	2,534	42.5	3,023	34.4	1,504	45.9
2020年3月期第1四半期	43,558	2.0	4,405	1.1	4,608	0.8	2,781	5.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,038百万円 (134.7%) 2020年3月期第1四半期 2,987百万円 (116.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	23.04	23.03
2020年3月期第1四半期	42.60	42.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	192,120	139,378	65.5
2020年3月期	203,626	144,414	63.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 125,844百万円 2020年3月期 130,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		49.00		57.00	106.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		49.00		57.00	106.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,500	15.6	5,100	49.0	5,300	49.5	3,300	49.9	50.54
通期	174,500	8.9	14,500	30.5	14,700	31.1	9,000	29.3	137.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	67,590,664 株	2020年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,296,935 株	2020年3月期	2,296,827 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	65,293,769 株	2020年3月期1Q	65,294,414 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、今までの緩やかな回復基調から急速な悪化に転じました。また、アジア・オセアニア地域の経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況で推移しました。

国内建設市場においては、住宅着工は、持家や貸家および一戸建てが大幅に減少しました。非住宅関連は、景気の先行き不透明感から、店舗、工場、医療・福祉施設、飲食サービス業などの着工面積が減少し、全体としても前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「C&C2000」の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア・オセアニア地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。また、グループ一丸となって業務改革を推進し、生産効率の向上、各種コスト削減などに努めました。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大への対応策として、お客様、協力会社および当社グループ従業員など、関係者の安全と健康を最優先し、対面による営業活動や来客対応を自粛するとともに、テレワーク、時差出勤、分散配置などを推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高37,364百万円（前年同期比14.2%減）、営業利益2,534百万円（同42.5%減）、経常利益3,023百万円（同34.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,504百万円（同45.9%減）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

(化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内においては、木工・家具向け汎用接着剤、施工用接着剤、集成材用接着剤などが低調で売上が前年を下回りました。海外においては、タイで販売量が伸長したものの、工場の稼働が停止した中国の影響で、売上が減少しました。

建設樹脂系商品は、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」や橋梁・土木用の補修・補強材が好調に推移したものの、工場・倉庫向けの塗り床材が低迷し、売上が減少しました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内会社においては、テレワーク、巣ごもり需要により電子機器関連用途のUV樹脂やシリコン樹脂が前年を上回りましたが、自動車用ホットメルトや紙・粘着剤・繊維用途のアクリル・コンパウンド製品、化粧品用の有機微粒子が低迷し、前年を下回りました。エバモア・ケミカル・インダストリー社につきましては、主力製品のシューズおよびスポーツウエア向けのウレタン樹脂や家具の塗料向け架橋剤が低迷し、前年を下回りました。

このような結果、売上高は20,693百万円（前年同期比17.4%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は1,293百万円（前年同期比30.3%減）となりました。

(建装建材セグメント)

メラミン化粧板は、国内においては、抗ウイルスメラミン化粧板「アイカウイルテクト」が好調でしたが、大都市圏での工事減少などが影響し、前年を下回りました。海外においては、インドで売上が低迷しましたが、当第1四半期連結累計期間より連結業績に組み入れたウィルソナート各社や前年より連結業績に組み入れたソイス・メンディニ社が寄与し、伸長しました。全体としても売上が伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板が低迷し、前年を下回りました。

メラミン不燃化粧板「セラール」は、抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラールウイルテクト」が売上が伸ばしましたが、店舗、教育施設、公共施設等の工事減少と住宅リフォーム工事停滞の影響を受けて、全体としては売上が前年を下回りました。

不燃建材は、多機能建材「モイス」が耐震需要の高まりから、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト」が病院や教育施設の好調により、それぞれ伸長しましたが、押出成型セメント板「メース」が低迷し、前年を下回りました。

カウンター・ポストフォーム商品は、キッチン・洗面カウンター用途で天然石の代替品としての需要を獲得した高級人造石「フィオレストーン」や汎用的なポストフォームカウンターが好調でしたが、人工大理石「コーリアン」製カウンターが新築・改修工事の減少により低調で、全体として売上が前年を下回りました。

建具・インテリア建材は、医療福祉施設向け機能建具「U.D.（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」が好調で売上が伸ばしましたが、非住宅向けのトイレブースが低迷し、前年を下回りました。

このような結果、売上高は16,670百万円（前年同期比9.9%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は1,913百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は117,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,518百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が2,236百万円、受取手形及び売掛金が9,247百万円減少したことと、商品及び製品が1,032百万円増加したことによるものであります。固定資産は74,490百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が849百万円増加したことと、有形固定資産が930百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、192,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,505百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は45,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,862百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3,953百万円、短期借入金が580百万円、流動負債のその他が2,313百万円減少したことによるものであります。固定負債は7,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ606百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、52,742百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,469百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は139,378百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,036百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,504百万円及び剰余金の配当3,721百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.5%（前連結会計年度末は63.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2020年5月19日公表の業績予想に変更はありません。今後の景気の動向によって第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,690	38,453
受取手形及び売掛金	61,691	52,443
商品及び製品	10,153	11,185
仕掛品	1,132	1,443
原材料及び貯蔵品	8,098	7,939
その他	8,002	6,835
貸倒引当金	△620	△670
流動資産合計	129,148	117,630
固定資産		
有形固定資産	49,478	48,547
無形固定資産		
のれん	6,352	6,971
その他	3,784	4,014
無形固定資産合計	10,136	10,985
投資その他の資産		
その他	14,874	14,969
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	14,862	14,956
固定資産合計	74,477	74,490
資産合計	203,626	192,120
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,799	20,846
電子記録債務	5,207	4,847
短期借入金	5,947	5,367
未払法人税等	3,616	4,457
賞与引当金	1,957	2,461
その他	10,040	7,726
流動負債合計	51,568	45,706
固定負債		
長期借入金	914	797
退職給付に係る負債	1,476	1,426
その他	5,252	4,812
固定負債合計	7,643	7,036
負債合計	59,212	52,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,276	13,276
利益剰余金	106,786	104,555
自己株式	△2,009	△2,009
株主資本合計	127,945	125,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,743	2,940
繰延ヘッジ損益	16	△0
為替換算調整勘定	△474	△2,767
退職給付に係る調整累計額	△33	△43
その他の包括利益累計額合計	2,252	129
新株予約権	27	27
非支配株主持分	14,188	13,506
純資産合計	144,414	139,378
負債純資産合計	203,626	192,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	43,558	37,364
売上原価	32,097	27,425
売上総利益	11,460	9,938
販売費及び一般管理費	7,055	7,403
営業利益	4,405	2,534
営業外収益		
受取利息	47	45
受取配当金	161	148
投資有価証券売却益	—	536
その他	191	305
営業外収益合計	400	1,036
営業外費用		
支払利息	28	36
売上割引	39	33
納期遅延賠償金	—	364
その他	128	113
営業外費用合計	196	547
経常利益	4,608	3,023
特別損失		
災害による損失	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	4,590	3,023
法人税、住民税及び事業税	1,473	1,560
法人税等調整額	△37	△330
法人税等合計	1,435	1,229
四半期純利益	3,154	1,794
非支配株主に帰属する四半期純利益	373	289
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,781	1,504

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	3,154	1,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△457	197
繰延ヘッジ損益	△0	△17
為替換算調整勘定	363	△3,010
退職給付に係る調整額	△77	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	5	8
その他の包括利益合計	△167	△2,832
四半期包括利益	2,987	△1,038
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,537	△618
非支配株主に係る四半期包括利益	450	△420

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,048	18,509	43,558	—	43,558
セグメント間の内部売上高又は 振替高	674	—	674	△674	—
計	25,722	18,509	44,232	△674	43,558
セグメント利益	1,856	3,249	5,106	△700	4,405

(注) 1 セグメント利益の調整額△700百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△699百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,693	16,670	37,364	—	37,364
セグメント間の内部売上高又は 振替高	590	—	590	△590	—
計	21,283	16,670	37,954	△590	37,364
セグメント利益	1,293	1,913	3,206	△671	2,534

(注) 1 セグメント利益の調整額△671百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△672百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。